

平成 26 年度「情報通信月間」総務大臣表彰

1 個人：7 件

(敬称略：五十音順)

氏 名	功績の概要
<p>おいえ ゆうじ 尾家 祐二</p> <p>九州工業大学 理事・副学長 (大学改革・教育・情報担当)</p>	<p>多年にわたり、情報通信ネットワークを活用した研究開発に積極的に取り組むとともに、九州地域における情報化を推進する団体代表を歴任し、高度 ICT 利活用人材の育成や産学官連携の進展に尽力するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。</p>
<p>きよはら けいこ 清原 慶子</p> <p>三鷹市長</p>	<p>多年にわたり、情報通信審議会委員を務め、ICT 政策の重要事項の検討に寄与するとともに、教育環境の情報化や ICT を活用した新たな街づくりの実現に積極的に取り組むなど、情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。</p>
<p>こみやま ひろし 小宮山 宏</p> <p>株式会社三菱総合研究所 理事長 プラチナ構想ネットワーク 会長</p>	<p>「スマートプラチナ社会推進会議」座長として、情報通信技術を活用して元気な超高齢社会を実現するスマートプラチナ構想の推進に主導的な役割を果たすとともに、情報通信技術による経済成長と国際社会への貢献を目的とする ICT 成長戦略の策定に尽力するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。</p>
<p>さかにわ こういち 坂庭 好一</p> <p>東京工業大学 名誉教授 前電気通信紛争処理委員会 委員長</p>	<p>多年にわたり、電気通信事業紛争処理委員会委員長及び電気通信紛争処理委員会委員長として委員会運営に尽力するとともに、両委員会のあっせん委員として公正・円滑な紛争の解決を行い、我が国の電気通信分野の公正競争の確保及び放送分野の発展に多大な貢献をした。</p>
<p>はたの かずのり 秦野 一憲</p> <p>株式会社中海テレビ放送 代表取締役社長 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 副理事長</p>	<p>一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟の役員を長年務め、ケーブルテレビのデジタル化の標準仕様の策定を行い、デジタル化の推進に主導的役割を果たすとともに、代表を務めるケーブルテレビ会社においては、自主放送番組の向上により地域情報の充実や地域活性化に取り組むなど、ケーブルテレビの発展に多大な貢献をした。</p>

<p>ふなだ まさゆき 舟田 正之</p> <p>立教大学 法学部 名誉教授</p>	<p>多年にわたり、独占禁止法の見地から、サービスの多様化や料金体系の複雑化が進行する電気通信事業分野における市場競争の分析評価に携わるとともに、「競争評価アドバイザーボード」などの場で有益な助言を行うなど、我が国の電気通信事業分野の発展に多大な貢献をした。</p>
<p>わたなべ かつあき 渡辺 捷昭</p> <p>トヨタ自動車株式会社 相談役</p>	<p>高度道路交通システム（ITS）の推進に尽力するとともに、前情報通信月間推進協議会会長として、情報通信の普及・振興に務めるなど、ICTを活用した安心・安全で快適な社会の実現に向けて多大な貢献をした。</p>

2 団体：3件

(敬称略：五十音順)

団体名	功績の概要
<p>一般財団法人衛星測位利用推進センター (SPAC)</p> <p>(理事長 おかべ あつゆき 岡部 篤行)</p>	<p>産業界・経済界における衛星測位を利用した地理空間情報の利用拡大に向け、準天頂衛星を用いて、様々な企業・団体との連携による民間主体の利用実証等を推進し、衛星測位の利用拡大と実用準天頂衛星システムの実現に資する多くの成果を達成するなど、G空間社会の実現に向けて多大な貢献をした。</p>
<p>株式会社ティ・エス・エス・プロダクション</p> <p>(代表取締役社長 かわかみ しんいち 川上 伸一)</p>	<p>外国人向けの動画サイト「Japan in Motion」を企画・運営して、日本の伝統行事のほかJ-POPチャートやファッションなどの最新情報を海外の放送局へ提供するとともに、インターネット配信を行い、フランス国内のクールジャパンをけん引する役割を果たすなど、放送コンテンツの海外展開に多大な貢献をした。</p>
<p>徳島県</p> <p>(知事 いいずみ かもん 飯泉 嘉門)</p>	<p>全国で最も世帯普及率の高いブロードバンド環境のもと、ICT企業を誘致するサテライトオフィスプロジェクトを推進して集落再生を図るなど、情報通信の利活用について積極的な取組を展開するとともに、地域力・地域連携を活かした災害に強い徳島プロジェクトを実施し、地域情報化の推進に多大な貢献をした。</p>